



人と地域が輝く未来へ

合志市制施行20周年記念式典



▲市ホームページ

5月30日、市総合センター「ヴィーブル」文化会館で、『合志市制施行20周年記念式典』を開催しました。式典には、自治体関係者や本市の発展に貢献した団体・個人など約500人が出席し、合志吹奏楽団『響』の演奏で華やかに幕を開けました。

荒木市長は、「平成18年2月27日の誕生以来、熊本地震や新型コロナウイルス感染症など幾多の困難がありました。市民の深い郷土愛と助け合いの絆で今日まで歩を進めてきました。20年の歩みは先人への感謝の歴史であり、市民と築いた挑戦の歴史でもあります。これからは次の世代へ、より良い本市を引き継ぐ新たな挑戦の始まりです」と式辞を述べました。また、青木照美市議会議員は、「二十歳という節目に、誰もが住み続けたいと思えるまちをともに創りましょう」と挨拶しました。



『合志市制施行20周年記念表彰』・『ボランティア表彰』



さまざまな分野で本市の発展に貢献した皆さん、ボランティア活動を通じて日々の市民の暮らしに寄り添ってきた皆さん、計41団体・102人を表彰しました。誠にありがとうございます。

各部門の代表の皆さん

- ①地方自治部門(19人) すずかけ台自治会長 松崎和寛さん
- ②教育文化部門(43人) 映画監督 中山節夫さん
- ③健康福祉部門(12人) 市民生委員・児童委員 長野博巳さん
- ④環境保全部門(9人) 市環境美化推進員 高森節臣さん
- ⑤産業経済部門(3人) 吉弘鋼材(株)取締役会長 吉弘哲郎さん
- ⑥消防防災部門(3人) 元市消防団長 安田秀一さん
- ⑦功労団体(38団体) 県立ひのくに高等支援学校生徒会長 小柳雄紳さん
- ⑧ボランティア表彰(3団体・13人) 工藤彦彦さん

20年の歩みを振り返るパネルを展示中

式典当日、「ヴィーブル」のロビーには誕生から20年の歩みを振り返るパネルを展示しました。式典終了後は、市役所と防災センター棟を繋ぐ2階廊下に展示しています。ぜひご覧ください。



徳島県阿南市と姉妹都市協定を締結しました

5月29日、本市と徳島県阿南市は姉妹都市協定を締結しました。調印式では、荒木市長と岩佐義弘阿南市長が協定書に署名しました。両市は令和元年から交流を始め、パートナーシティ協定を締結するなど交流を深めてきました。姉妹都市協定は、人権啓発や災害時の相互支援などを軸に、両市の更なる発展と地域の活性化に寄与することを目的としています。

- ①市役所で行なわれた調印式
- ②調印式に出席した本市と市議会、阿南市、阿南市議会関係者



▲市ホームページ

締結の目的・効果

3つの項目で相互に連携・協力

人権

目的

ハンセン病の歴史・人権啓発に関する連携

効果

人権教育・啓発の向上
自治体の社会的評価向上
地域資源の再評価

防災

目的

震災経験・防災知見の共有

効果

防災力向上
災害時対応能力の向上
災害対策事業の効率化

その他

目的

その他物産・観光・産業交流など

効果

物産交流
職員間交流
市の共同PR

両市の
更なる発展と
地域の活性化へ

合志市制施行20周年記念式典

5月30日の『合志市制施行20周年記念式典』に阿南市の岩佐市長、阿南市議会の幸坂孝則議長が来賓として出席。岩佐市長は祝辞の中で姉妹都市協定について出席者に紹介しました。



徳島県阿南市はこんなまちです

四国の最東端に位置する阿南市。那賀川や紀伊水道の恵みを活かした農林水産業、臨海部に立地する製紙や火力発電、LED、半導体レーザーなどの製造業によって雇用を生み出し、『豊かな自然と調和した産業都市』として成長しています。

野球やSUPなどによる特色あるまちづくりに力を入れていて、全国の自治体で初めて名前に「野球」が入った『野球のまち推進課』を設置したり、SUPをきっかけに地域の関係人口を増やし、地域ブランディングと地域経済の好循環を繋げる『阿南SUPタウンプロジェクト』を実施したりしています。



▲阿南市
ホームページ

面積	279.22km ²
人口	66,376人
世帯数	31,353世帯

※人口、世帯数は令和8年4月30日現在